



地域経済分析システム「リーサス」の供用を開始



杉森 賢二 議員

Q 環境にやさしいまちづくりを

A 民間と連携して小水力発電普及に取り組む

地球温暖化対策は

問 CO₂削減における町の取り組みの考えは。

都市環境部長 行政活動により排出されるCO₂を、30年度に24年度レベルから5%削減を目指している。26年度は、施設全体で3.6%、役場庁舎などの事務所10.8%、ごみ焼却場0.8%削減できた。今後も目標達成に向け取り組んでいく。

問 防犯灯の100%LED化の考えは。

地域防災課長 26年度末で30.4%をLED化した。今後5年間で、100%LED化に向けて計

新エネルギー活用は

問 民間と連携した農業用水路、水道管、貯水池、砂防えん堤を活用した小水力発電設置の考えは。

都市環境部長 農業や水道など事業本来の目的を妨げる要因がなく、実施

問 エコパーク設置に向け模型展示などの考えは。

くらし環境課長 常設設置は考えていないが、機会を捉えて情報を発信し、見学会や学習会など各種イベントを行っていく。

が見込めるなら、民間企業と連携して小水力発電の普及に取り組んでいく。

Q 行政民間連携を目的としたITの有効活用を

A まちの魅力を積極的に発信していきたい

国、県との連携は

問 地域経済分析システム「リーサス」活用の見

解は。

企画財政課長 これまで

にないビックデータを集約し、地域経済の見える化がはかられた非常に優れたシステムと認識して

いる。産業面では、どの産業が付加価値や雇用を多く生み出す産業か、人口面からは、今後のインフラ整備や医療福祉教育施策などの必要な規模のほか、現実的かつ効果的な人口流出防止策の検討など、地方版総合戦略の策定に役立てたい。

問 県が行っているオープンデータの活用と、町の計画は。

課長 「住民向け地図情報システム」の構築に取り組んでいるところで、町が保有する地図情報に都市計画図や道路台帳、AED設置場所などを住民に公開するシステム構築を進めており、オープ

ンデータの掲載が可能なものは、広く二次的な利用を促すよう取り組みたい。

その他の質問

歴史・伝統・文化を愛する町を目指して